

22160 卒業研究（演習）ⅰ Graduation Study and Seminar			4 年次 通年 4 単位
担当者	花井 美保	履修可能学科	F
		関 連 資 格	
サブタイトル	動物を用いる栄養実験		
授業内容 ・ ねらい	今年度は2つの研究テーマで動物実験を実施する。 ・社会活動の国際化、労働形態の多様化に伴い、規則的な生活を送ることが出来ない人々が増加している。不規則な生活は生体に何らかの悪影響を及ぼし、その悪影響は不適切な食生活によって増幅されと考えられる。このような人々の健康状態を良好に維持するためには、どのような食生活を送ればいいのか？ 以上のような問題意識のもと、生活リズム攪乱モデル動物(ラットまたはマウス)を用い、栄養実験を行う。 ・運動手法の違い(運動するタイミング、運動継続時間、運動の頻度)が体脂肪の蓄積程度に影響を及ぼすか否かをラットを用い実験する。		
授業計画	1.実験計画の作成 2.飼料の調製 3.動物の飼育、解剖 4.サンプルの分析 5.結果のまとめ 6.論文作成 ・前期に動物を飼育し、夏休みに分析を行う予定。後期は論文執筆にあてる。 週に1コマだけでなく、空いている時間は研究室に来て実験をする。		
教科書 参考書			
評価方法	研究に対する取り組みによって評価。		
事前準備学習 履修条件等	小動物(ラット、マウス)を用いるので、動物アレルギーのない学生。動物飼育期間中は休めないの、健康管理が出来る学生、実験に興味があり自主的に行動できる学生を希望します。		